



日本慢性期医療協会宣言

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大は、今や医療崩壊をもたらし、国民は命の選択を迫られる状況まで追い込まれております。COVID-19 はこれからも猛威を振るい続けることが予想され、医療や介護が正常な体制に戻る見通しは全く見えません。

しかしながら、我々の使命として国民の命を守ることに努力を惜みず、どのような状況下でも、主に慢性期医療を提供する者としての役割を果たしていかねばなりません。そのために、現在、COVID-19 に対峙している医療現場が少しでも正常に動くよう、日本慢性期医療協会として下記のように最大限の努力をしたいと思います。

この困難に、医療界が一体となって乗り切っていくことができるよう何卒ご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

令和3年8月20日

日本慢性期医療協会
会長 武久洋三

1. 日本慢性期医療協会の会員病院では COVID-19 の急性期治療を終えたポストコロナ患者の積極的な受け入れに向け最大限の努力を致します。
2. ポストコロナ患者の栄養状態改善等の全身状態の回復に努め、適切なリハビリテーションの提供を行い、在宅復帰に向けた医療・ケアを提供致します。
3. 当協会会員の地域包括ケア病棟では、在宅のコロナ患者で症状のある人の受け入れに努力致します。